

スクールサポートスタッフ

問 以前、多忙な教職員のサポートのために各校1名の配置を要望したが。

答 令和4年度は4名配置（うち2名は県費職員）。今年度は県費職員をさらに2名追加し、町内小中学校6校に配置している。

意見 今後も6名体制は継続してほしい。

ハートなんでも相談員

問 相談事業の課題は。

答 相談件数は令和3年度889件、令和4年度992件。相談内容の多様化、件数の増加により、現在の勤務日数では対応が難しいことから予算も含め検討していきたい。



ホッケー普及促進事業

問 財源内訳に寄附があるが少ないので、もっと募っていく考えは。

答 伊予高生も活躍している。学校と協力しながら支援の輪を広げていきたい。

意見 周知することで、ホッケーのまちづくりを推進し機運も高まる。U18日本代表に選ばれるなど活躍している。町をあげて応援してほしい。



かごしま国体5位入賞(10月8日)



避難行動要支援者名簿

問 作成にあたり個人情報提供の同意への対応は。

答 令和3年に個別避難計画の作成が市町村の努力義務となったことを受け、今年度下半期に各地域の自主防災会、民生委員や区長に地域に向いて説明会を行う。優先度の高い方から順次、個別避難計画の策定を行う。



独居高齢者福祉

問 見守りが必要な独居高齢者をどのように定めているのか。

答 見守り推進員や民生委員などの情報をもとに対応している。

問 見守り推進員の確保は。

答 見守り対象者が増加する中で、ニーズに対応していくため、推進員確保について先進事例を参考に検討中です。

職員の超過勤務について

問 福祉課に年間総実労働が2千時間を超えた職員がいるが、適正な労働時間なのか。

答 職員が1名病気休暇、1名が育児休暇に入ったことに加え、非課税世帯等給付金事業の業務が発生したためである。全庁として、月45時間以上の超過勤務をした場合、各所属長が面談し仕事の進捗状況や健康面について話を聞く場を設けている。

